

平成27年1月31日

従業員各位

株式会社 徳
ノリックス有限会社・有限会社和公
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。

今月も葬儀の仕事を中心にどの店舗も大変忙しく、またインフルエンザが蔓延する中で昨年よりも大きく売上げを伸ばすことが出来ましたことは、スタッフの皆様の頑張りのおかげと心より感謝しております。さて、社内新聞に何度も掲載していますように私どもの会社は大阪南港にある相愛大学様と2013年3月に産学協働協定を締結し、新商品の開発などを一緒に行い過去にもお弁当やレトルトカレーをリリースした事は皆様もご存知であると思います。

お弁当の開発のプロジェクトは本年で3年目となりますが年々内容も良くなり、本年も営業の福田リーダーや新卒社員の森川君、多田料理長の協力のもと、この春には素晴らしい新商品を3点リリースする予定です。栄養学を学ぶ学生は皆さんとても優秀な方ばかりで、過日も1年前に商品開発プロジェクトに参加したことのある4年生の男子学生が「鷺岡社長のおかげで〇〇という上場企業に就職内定をいただきました」と報告を頂戴しました。

彼には「栄養士という資格と知識をベースに社会のニーズをしっかりと見据え、自分の能力を最大限に活かしながら、それを具体的に行動に移すことが出来る力をつけよう」「今はそれが出来なくても将来はそれぞれの分野や問題にとらわれず全体を俯瞰できるプロをめざしてほしい」と申し上げました。それができればどこの企業に行っても、また自分で起業をしても貴重な存在として価値が出ます。

仏教には「自燈明」と言うコトバがあります。仏教の開祖の釈迦が亡くなる時に「これから私たちは何を頼って生きていけばいいのでしょうか？」と嘆く弟子たちに向かって釈迦は「わしが死んだあとは自分で考えて自分で決めろ。大事なことはすべて教えた」と言われたそうです。自ら明かりを灯せつまり己で指針を持たないといけないと突き放したわけです。要は「自分の人生は自分でしか決められない」ということなのです。人はつい易き方や楽な方、皆と同じやり方に流されがちです。しかしながら誰かが灯してくれる明かりを頼りに暗闇を進むのではなくて自らが明かりとならなければこれからの時代は企業も、個人も生き残ることが出来ません。私もそのような生き方を心がけようと思います。

■ノロウイルスが全国的に流行しています。手洗いの励行お願いいたします。

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう

草々